








道内の感染状況等について

【令和3年5月26日】

主な指標の状況(全道)

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (5/25)	1028 床 	60 床 	7589 人 	9.7% 	4100 人/週 (77.3人) 	1.08 	47.9% 
道ステージ5基準 (国ステージⅣ)	900床	90床	1327人	10%	1327人/週 (25.0人)	増加	50%
道ステージ4基準 (国ステージⅢ)	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%

※()は10万人あたりの新規感染者数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

特定措置区域の主な指標の状況

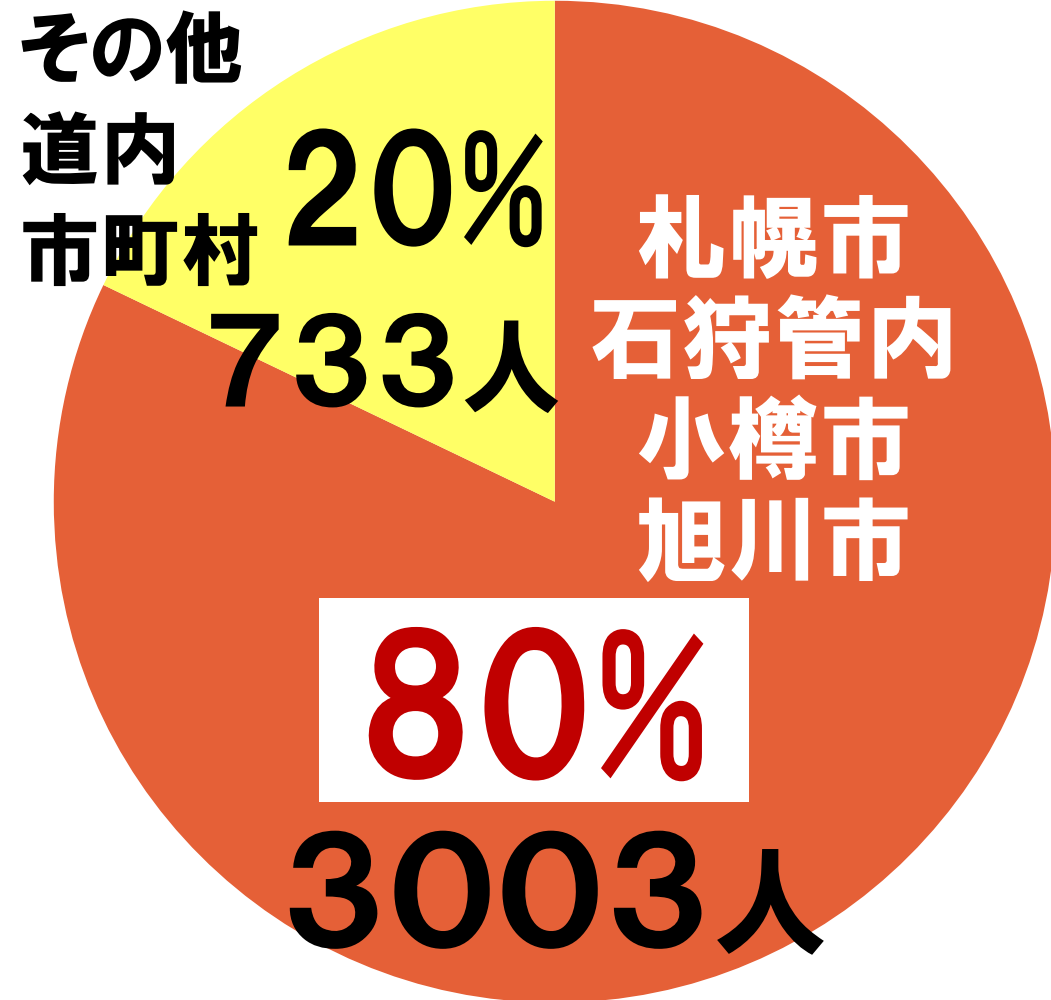
	監視体制	感染状況		
	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
札幌市 (5/25)	10.4% ↓	2487人/週 (127.2人) ↑	1.01 ↑	56.5% ↓
石狩振興局 (札幌市を除く) (5/25)	22.1% ↑	549人/週 (130.1人) ↑	1.37 ↑	46.1% ↑
小樽市 (5/25)	8.5% ↑	120人/週 (103.0人) ↑	1.52 ↑	17.5% ↓
旭川市 (5/25)	5.6% ↑	182人/週 (53.9人) ↑	1.43 ↑	35.7% ↓

※()は10万人あたりの新規感染者数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

特定措置区域の新規感染者数の割合

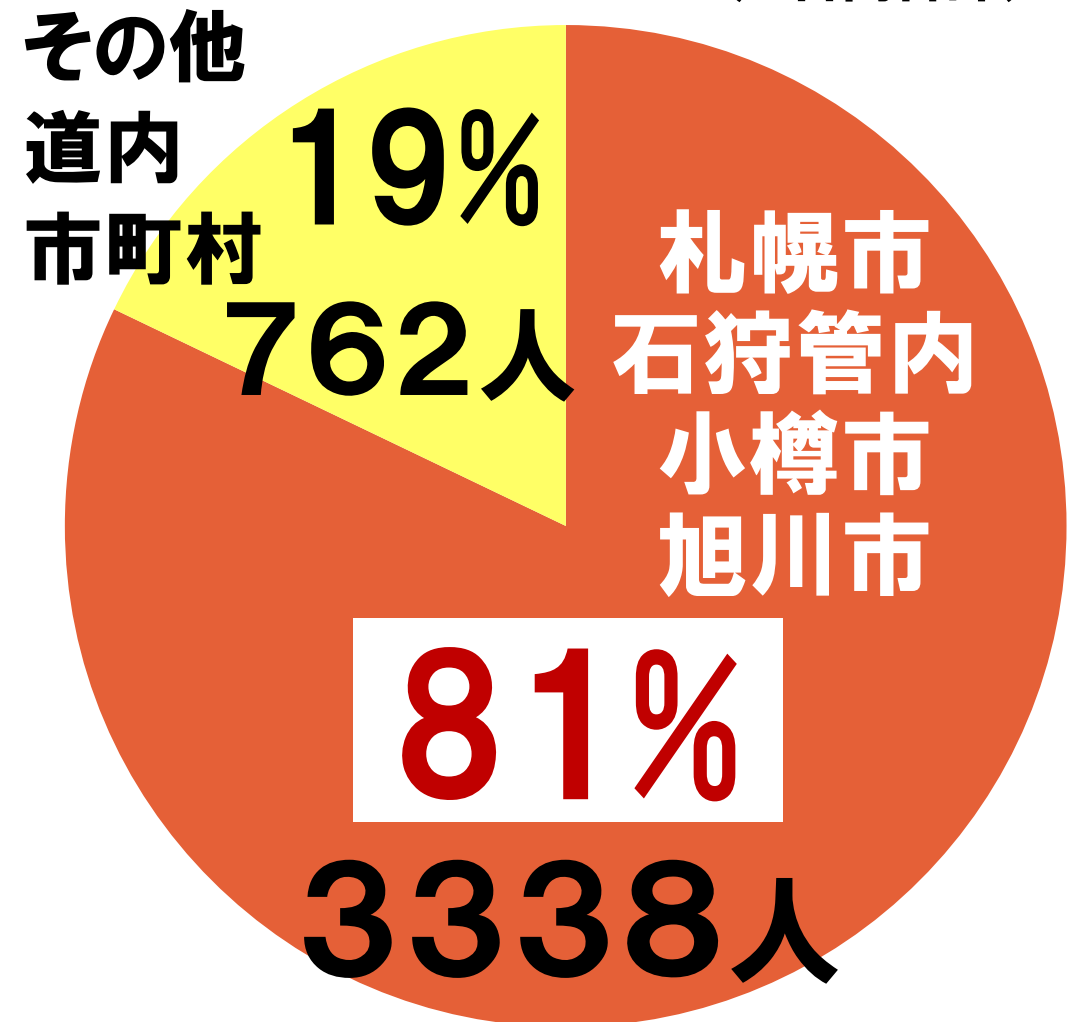
5/15 緊急事態措置前

(7日間合計)



5/25 緊急事態措置後

(7日間合計)



札幌市、石狩管内、小樽市、旭川市:283万人(53%)

その他道内市町村:247万人(47%) ※住基人口(H31/1/1)

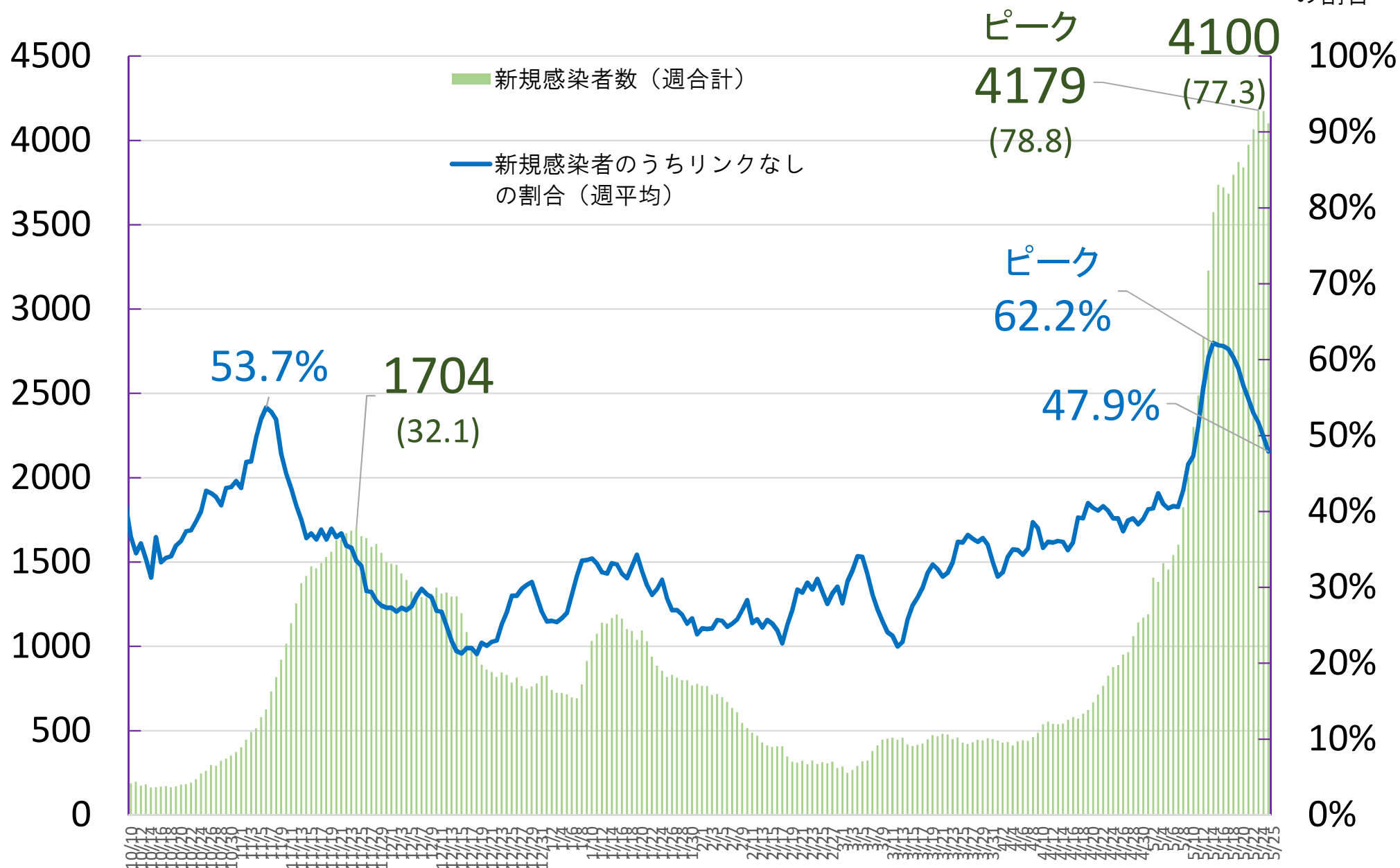
国の分科会提言で示された新たな指標(全道)

	医療提供体制等の負荷				監視体制	感染の状況			
	①医療の逼迫具合					②療養者数	③PCR陽性率	④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合
	入院医療		重症者用病床						
全道 (5/25)	確保病床の使用率 56.8%	入院率 13.5%	確保病床の使用率 37.0%	143.1人	9.7%	77.3人	47.9%		
国 ステージⅣ の指標	確保病床の使用率 50%以上	入院率 25%以下	確保病床の使用率 50%以上	30人 /10万人以上	10%以上	25人 /10万人/週以上	50% 以上		
国 ステージⅢ の指標	確保病床の使用率 20%以上	入院率 40%以下	確保病床の使用率 20%以上	20人 /10万人以上	5%以上	15人 /10万人/週以上	50% 以上		

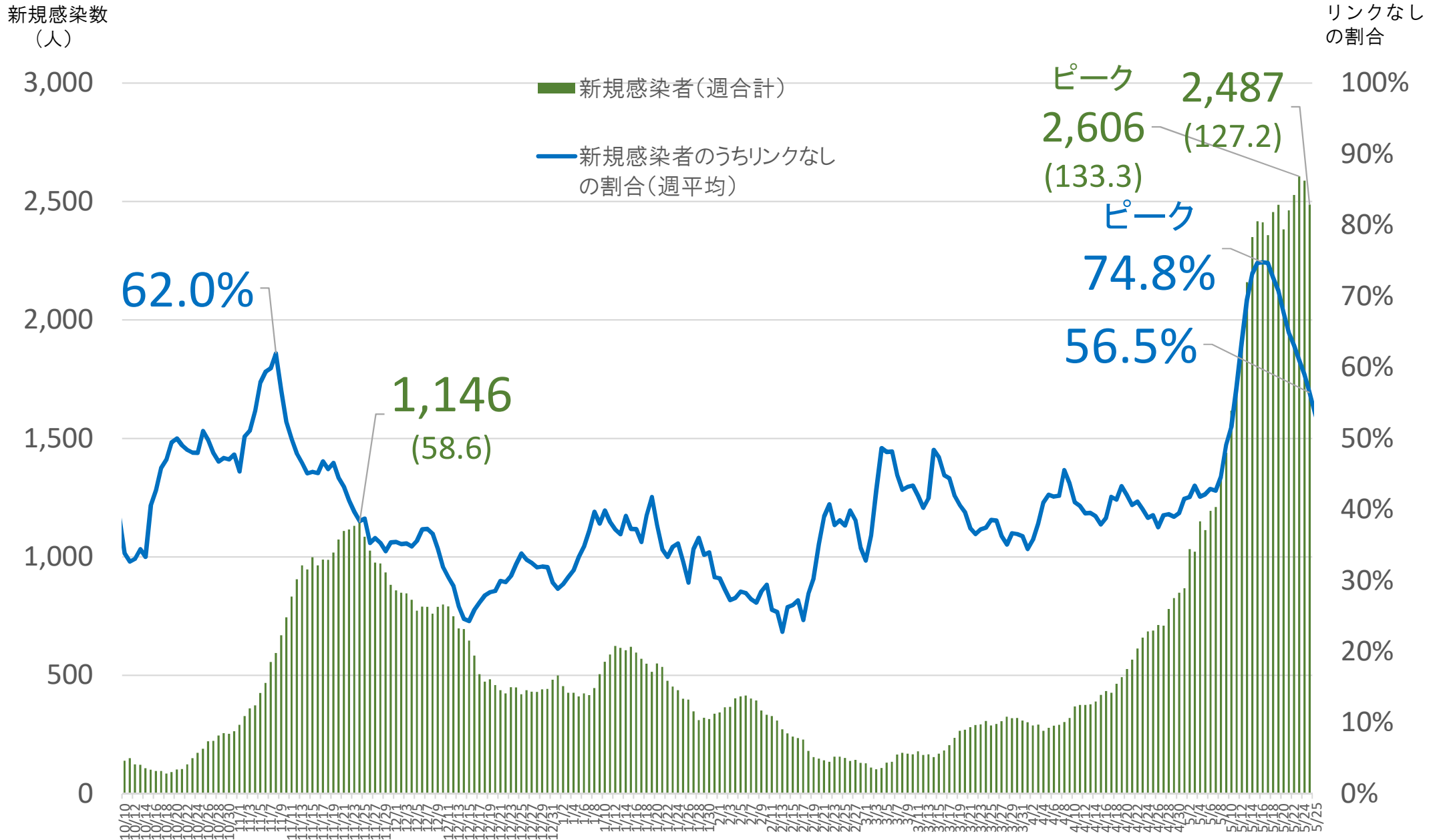
感染状況(全道)

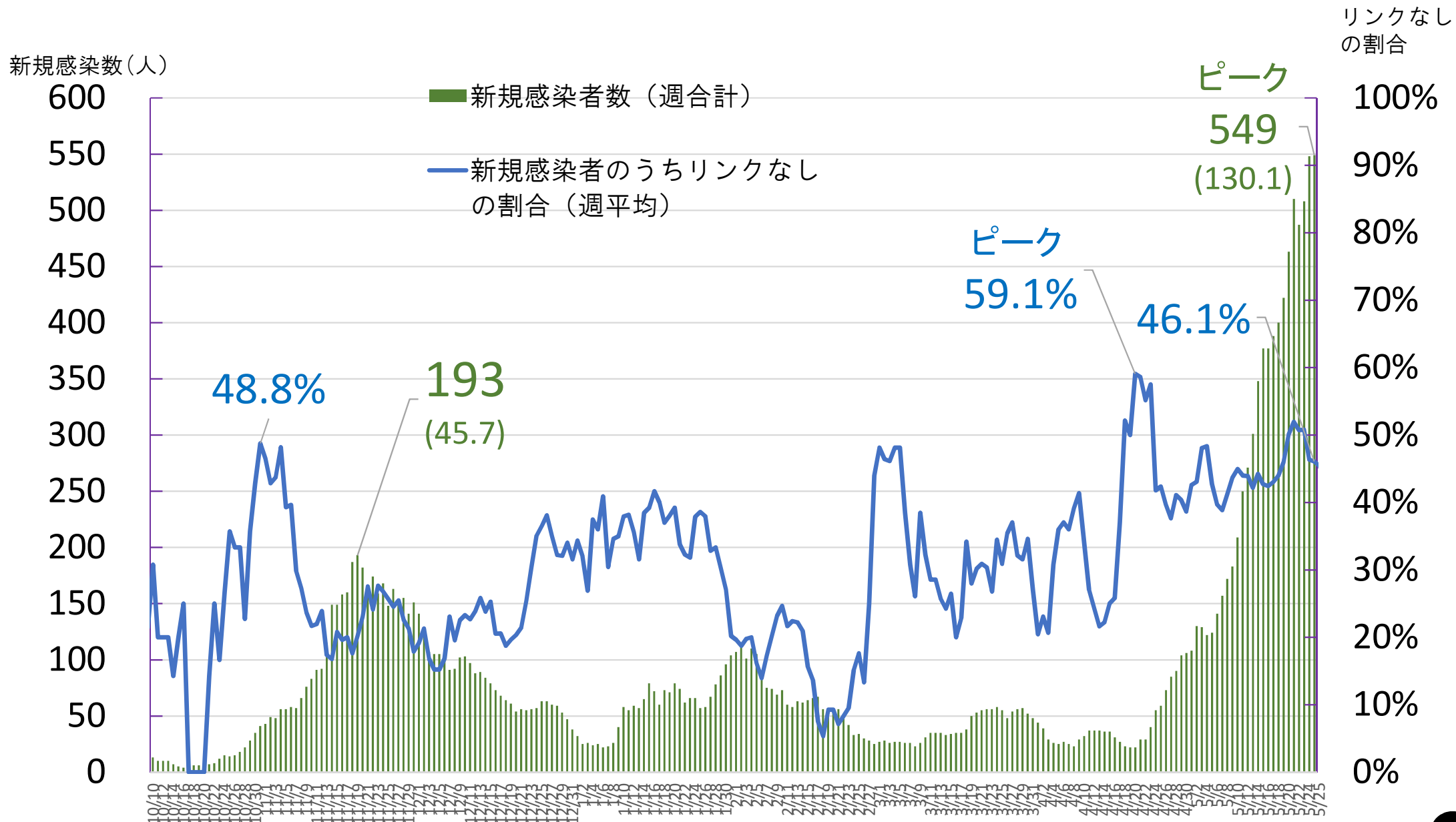
新規感染数(人)

リンクなしの割合



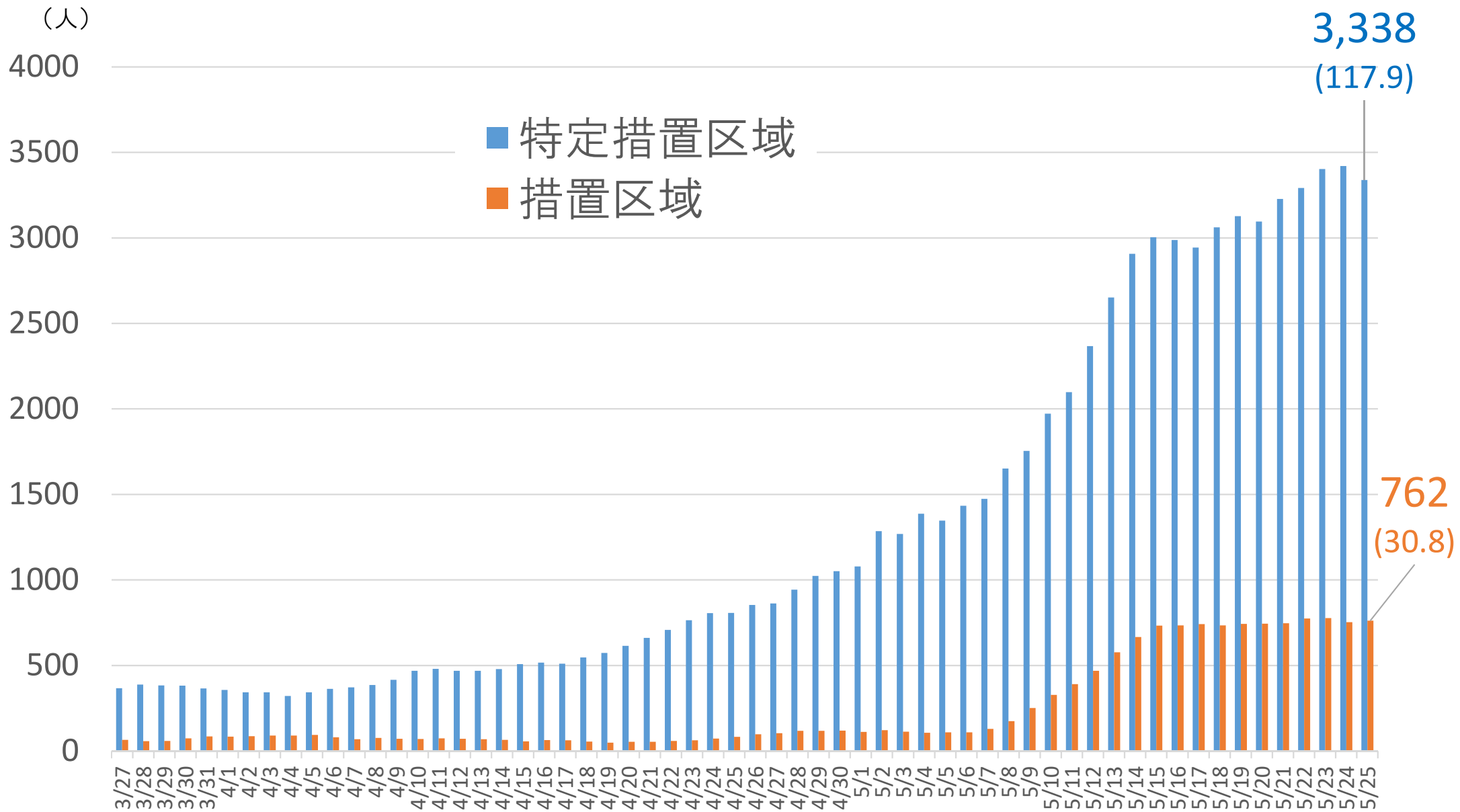
()は10万人当たり人数





()は10万人当たり人数

新規感染者数(特定措置区域／措置区域)



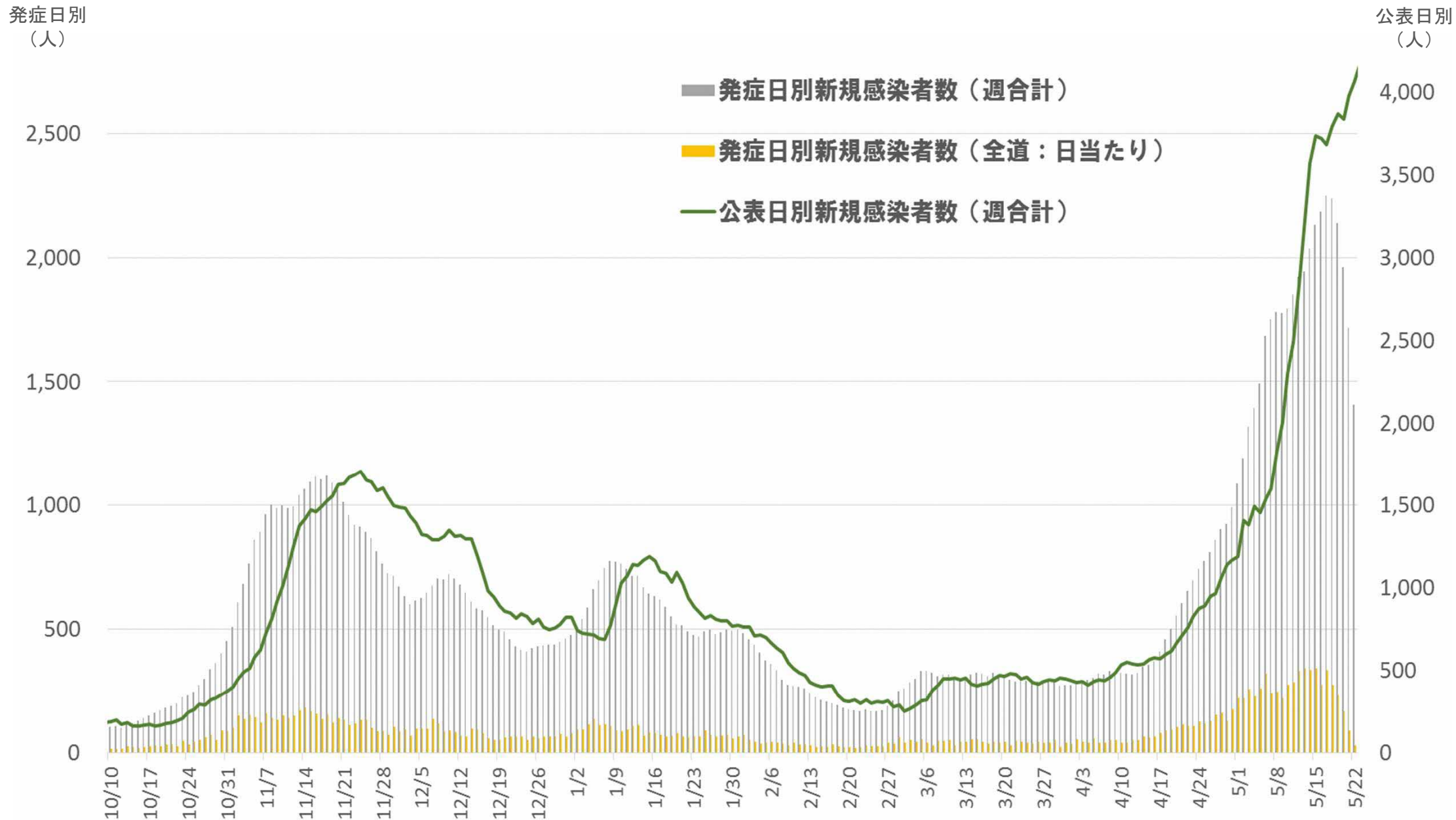
()は10万人当たり人数

地域別の感染状況

	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	道外	合計
5/12 ～ 5/18	129	2,855	101	177	37	28	8	185	8	9	30	138	42	38	10	3,795
5/19 ～ 5/25	88	3,036	138	157	61	69	11	244	22	9	68	116	53	24	4	4,100

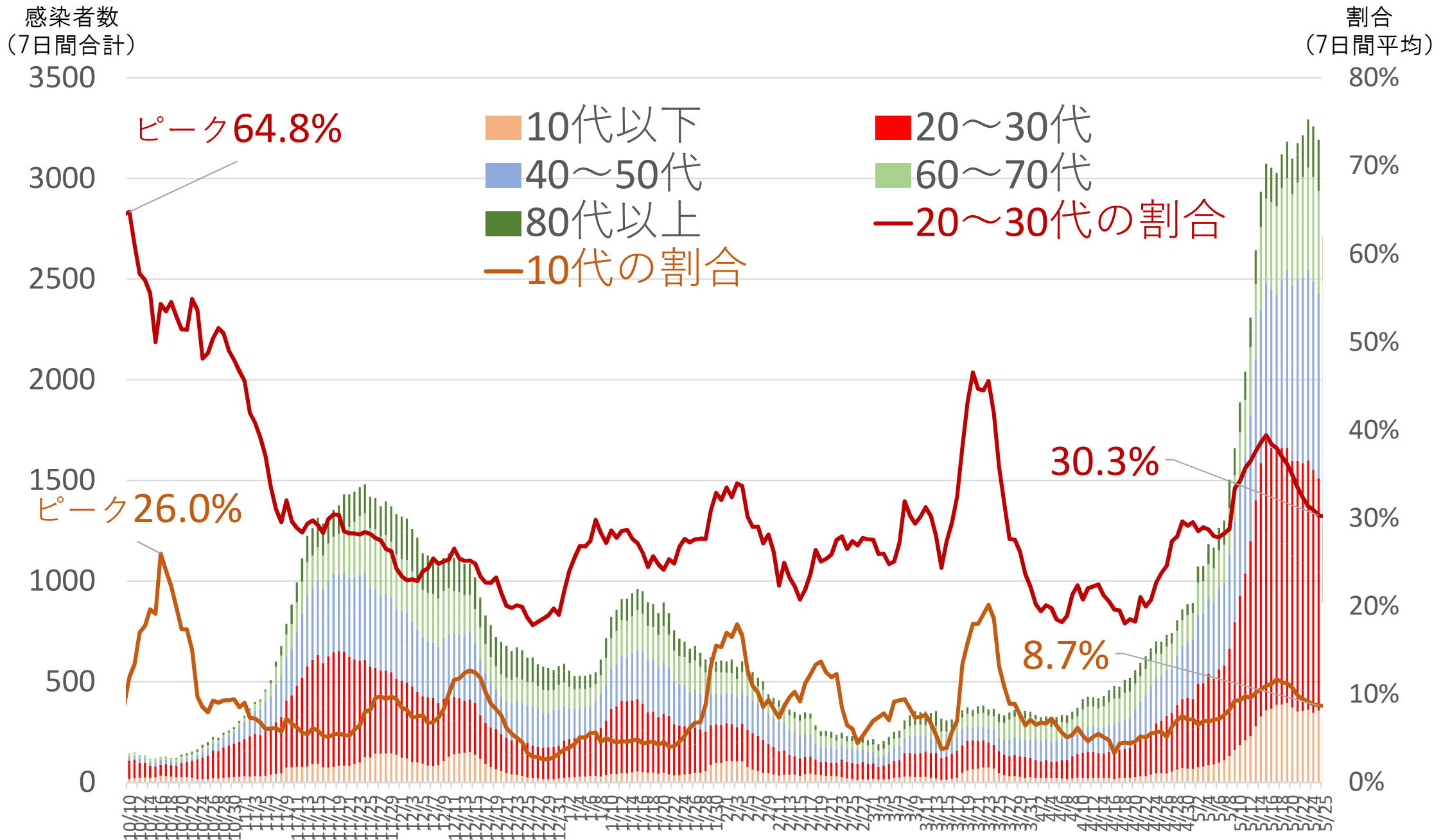
※「居住地」により整理。なお、各保健所設置市が居住地非公表として発表した者は、各振興局等を含めて計上。

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
 ※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

年代別感染者数と20代～30代の割合(全道)

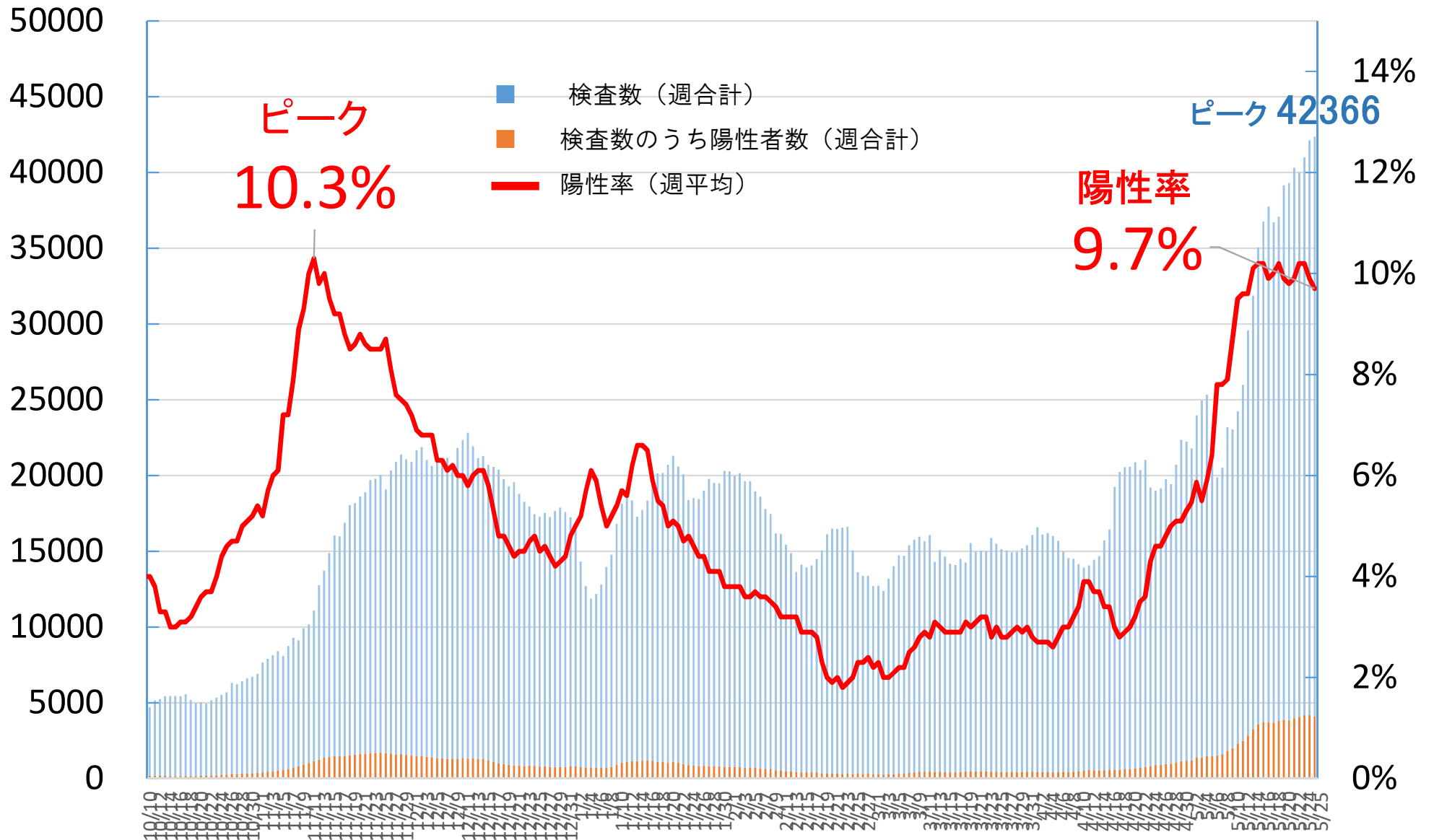


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

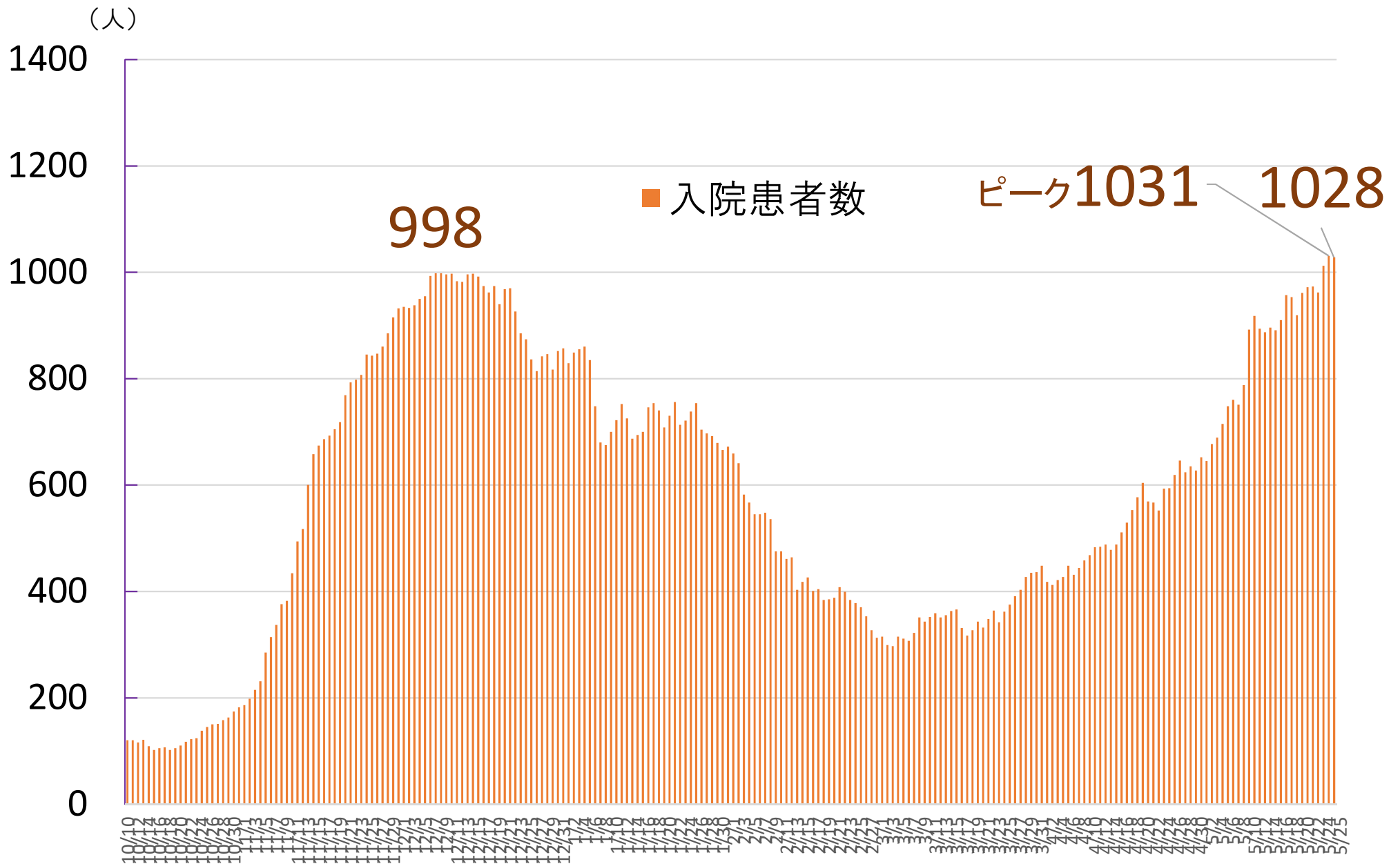
監視体制(陽性率と検査数)(全道)

検査数 (人)

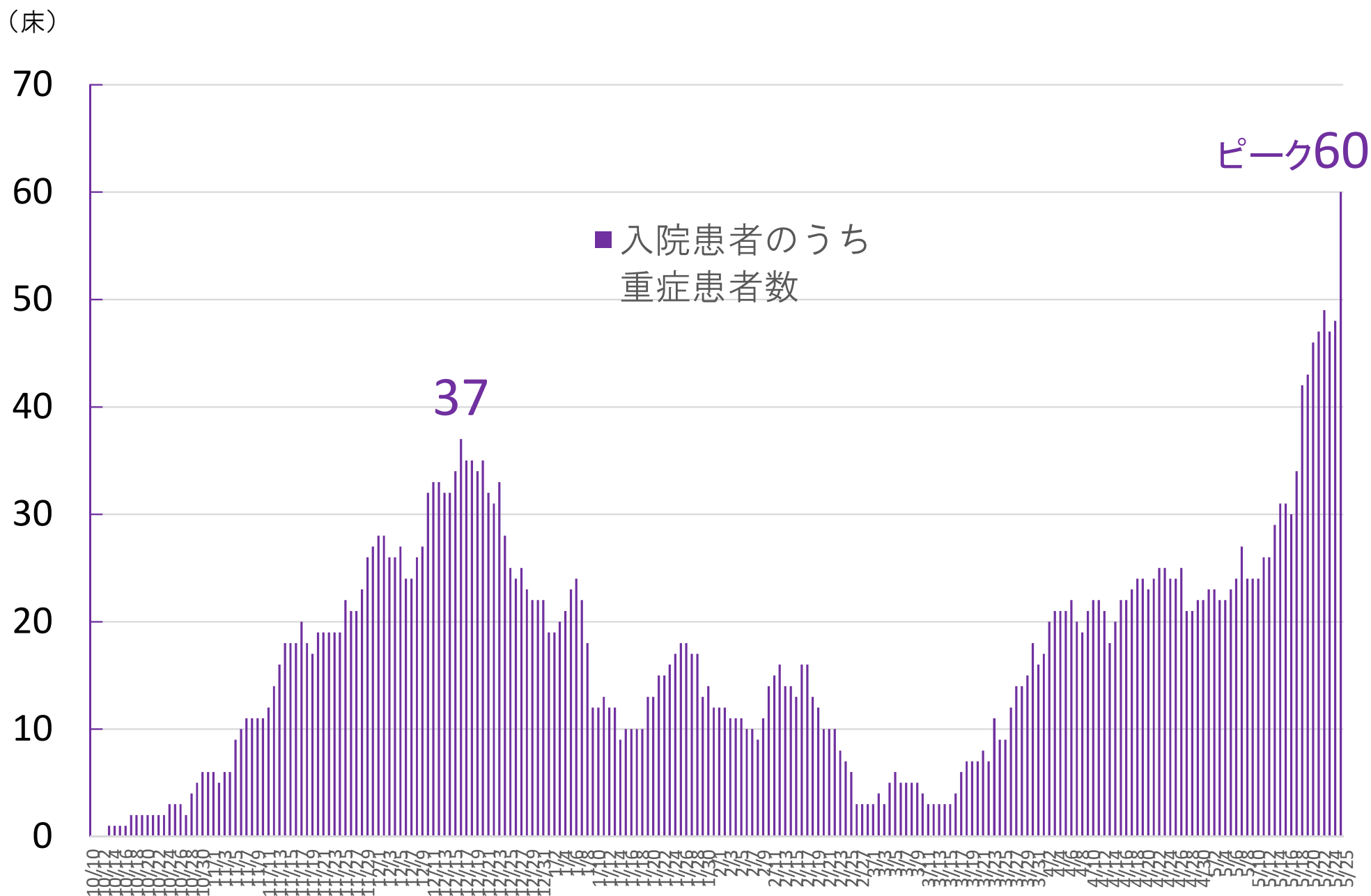
陽性率



医療提供体制等の負荷(病床全体)(全道)



医療提供体制等の負荷(重症者用病床)(全道)



集団感染の発生状況(全道)

	1月	2月	3月	4月	5月 (5/1~25)
医療施設 福祉施設	26件 (679人)	15件 (294人)	14件 (294人)	23件 (512人)	69件 (905人)
事業所等	10件 (109人)	10件 (103人)	9件 (110人)	9件 (81人)	25件 (333人)
飲食店等	15件 (174人)	5件 (43人)	8件 (96人)	14件 (102人)	12件 (125人)
学校	7件 (196人)	3件 (33人)	5件 (84人)	7件 (113人)	20件 (207人)
合 計	58件 (1158人)	33件 (473人)	36件 (584人)	53件 (808人)	126件 (1570人)

※「飲食店等」には、接待をともなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(特定措置区域／それ以外)

	5/5~11		5/12~5/18		5/19~25	
	特定措置	それ以外	特定措置	それ以外	特定措置	それ以外
医療施設 福祉施設	10件 (172人)	2件 (37人)	13件 (137人)	2件 (41人)	31件 (344人)	5件 (56人)
事業所等	5件 (78人)	1件 (7人)	2件 (17人)	2件 (32人)	4件 (72人)	8件 (76人)
飲食店等	1件 (6人)	3件 (56人)	2件 (13人)	2件 (22人)	2件 (15人)	2件 (13人)
学校	7件 (79人)	—	—	4件 (51人)	3件 (23人)	4件 (38人)
合 計	23件 (335人)	6件 (100人)	17件 (167人)	10件 (146人)	40件 (454人)	19件 (183人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について

医療従事者などへの接種

《接種状況》

- 5月25日現在 1回目接種終了:170, 534人(84. 4%)
2回目接種終了: 97, 275人(48. 1%)

※5月23日に、医療従事者のうち接種を希望する20万2千人の接種に必要なワクチンの供給が完了。

高齢者などへの接種

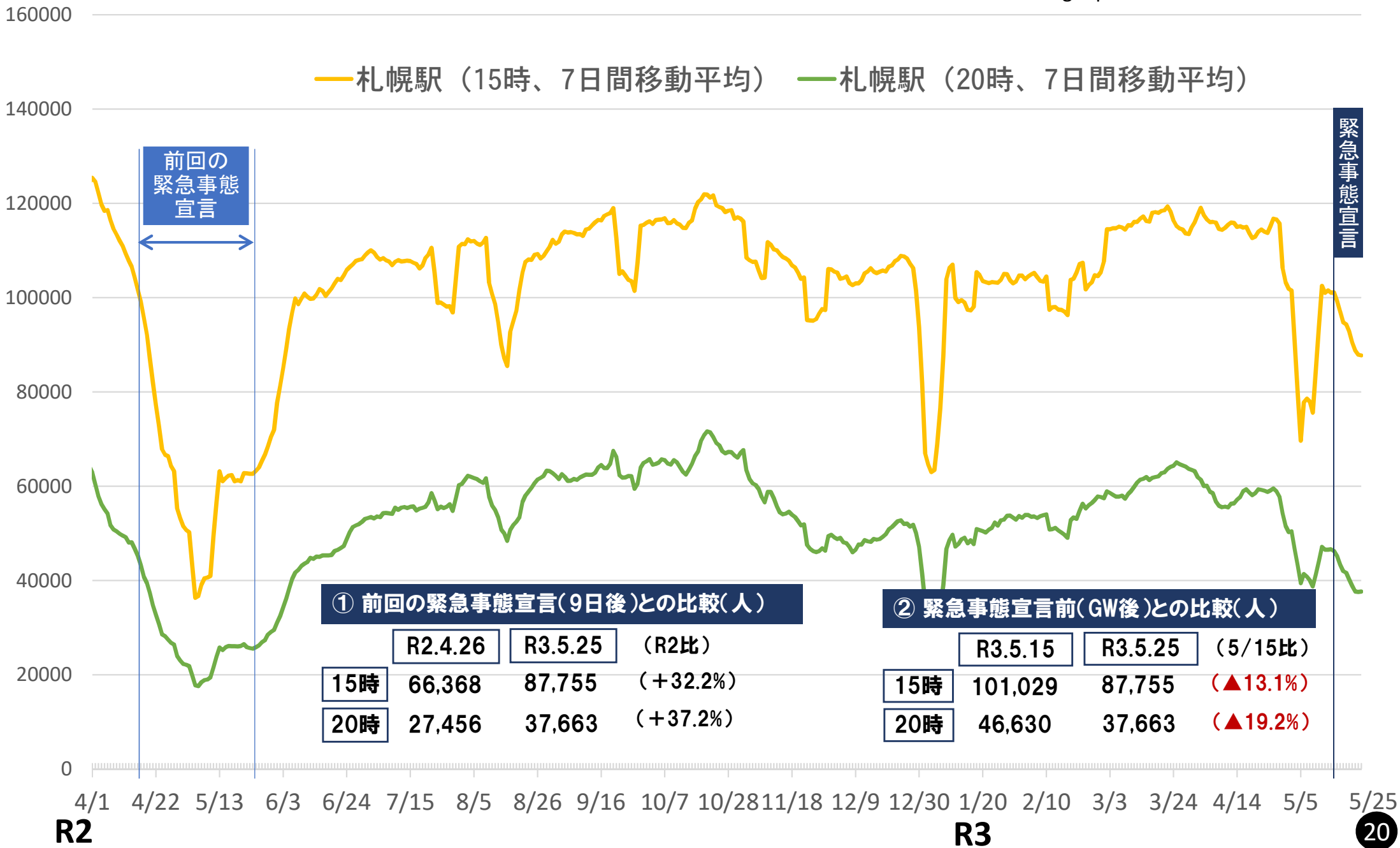
《接種状況》

- 5月25日現在 1回目接種終了:103, 104人(6. 2%)
2回目接種終了: 3, 898人(0. 2%)

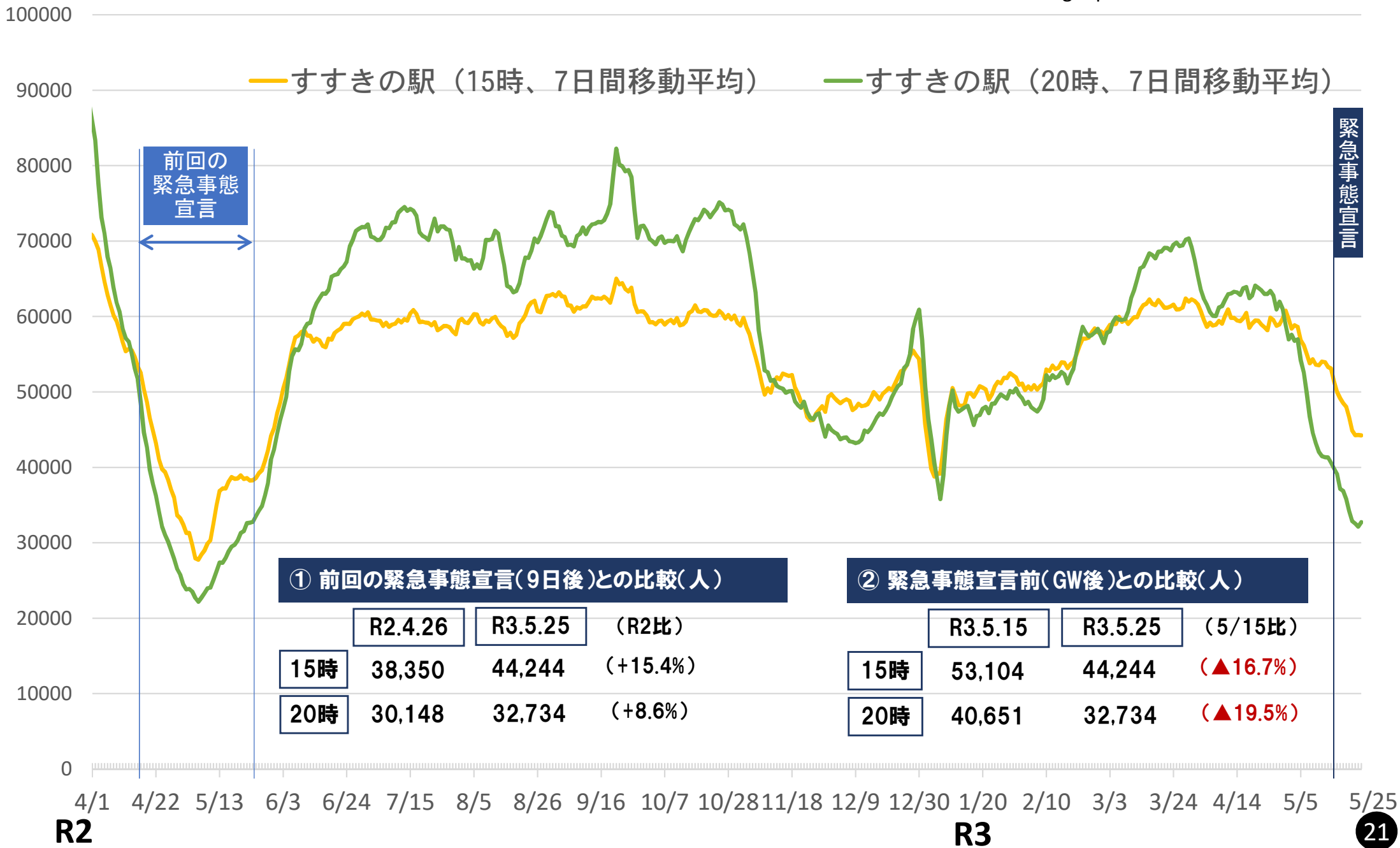
※6月末までに166万人の高齢者へ接種可能なワクチンの供給が完了見込み

札幌駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

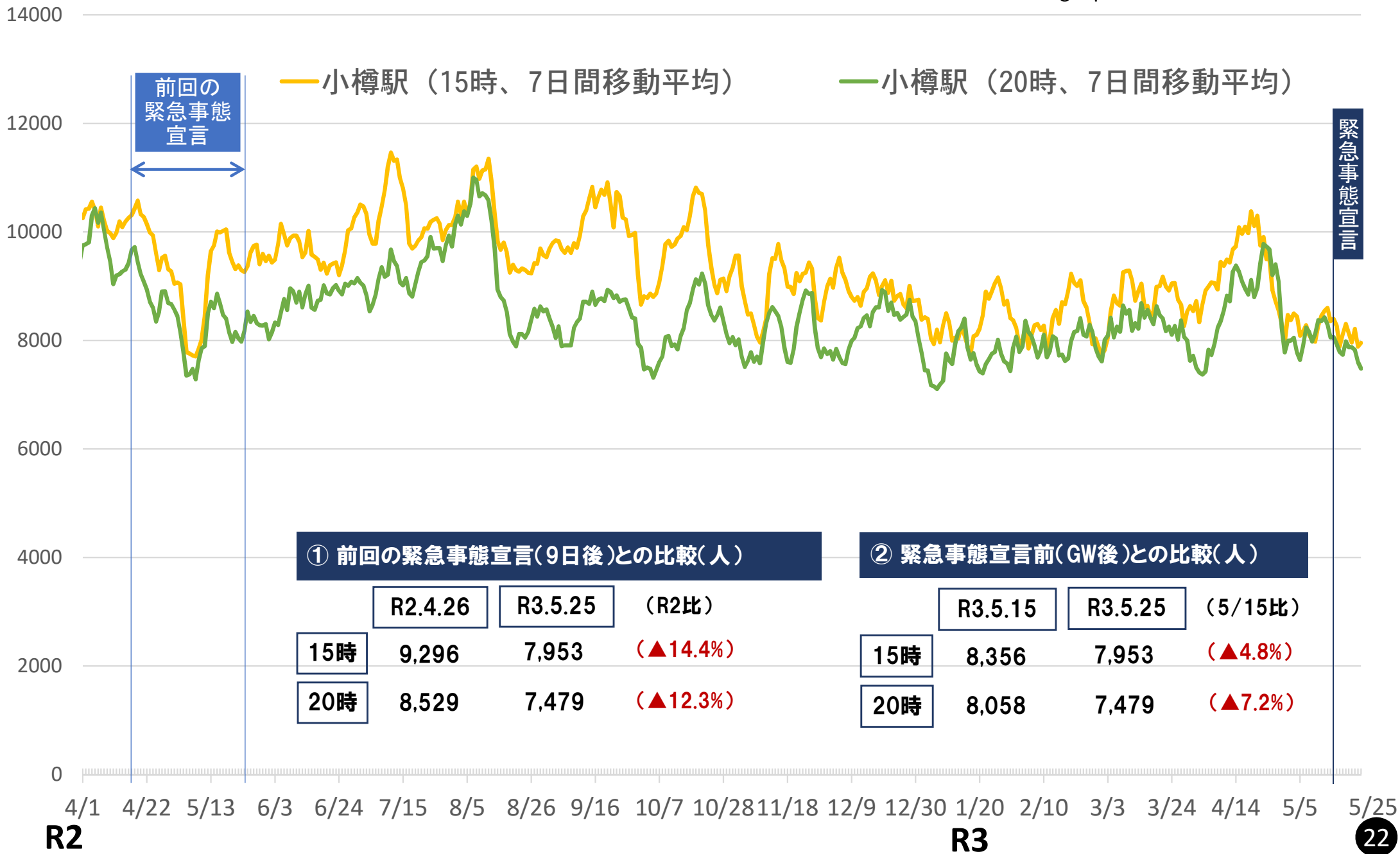


※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



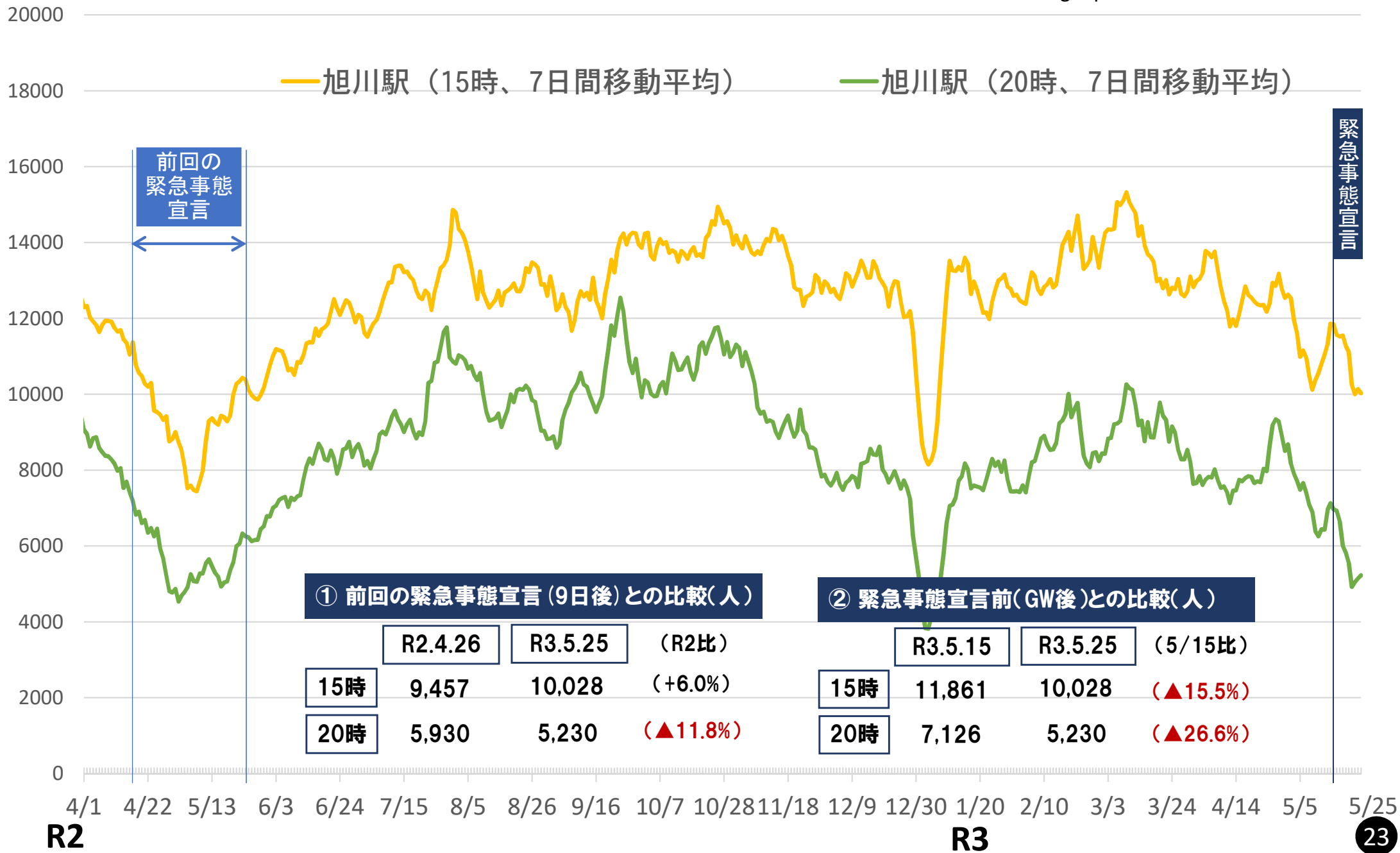
小樽駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



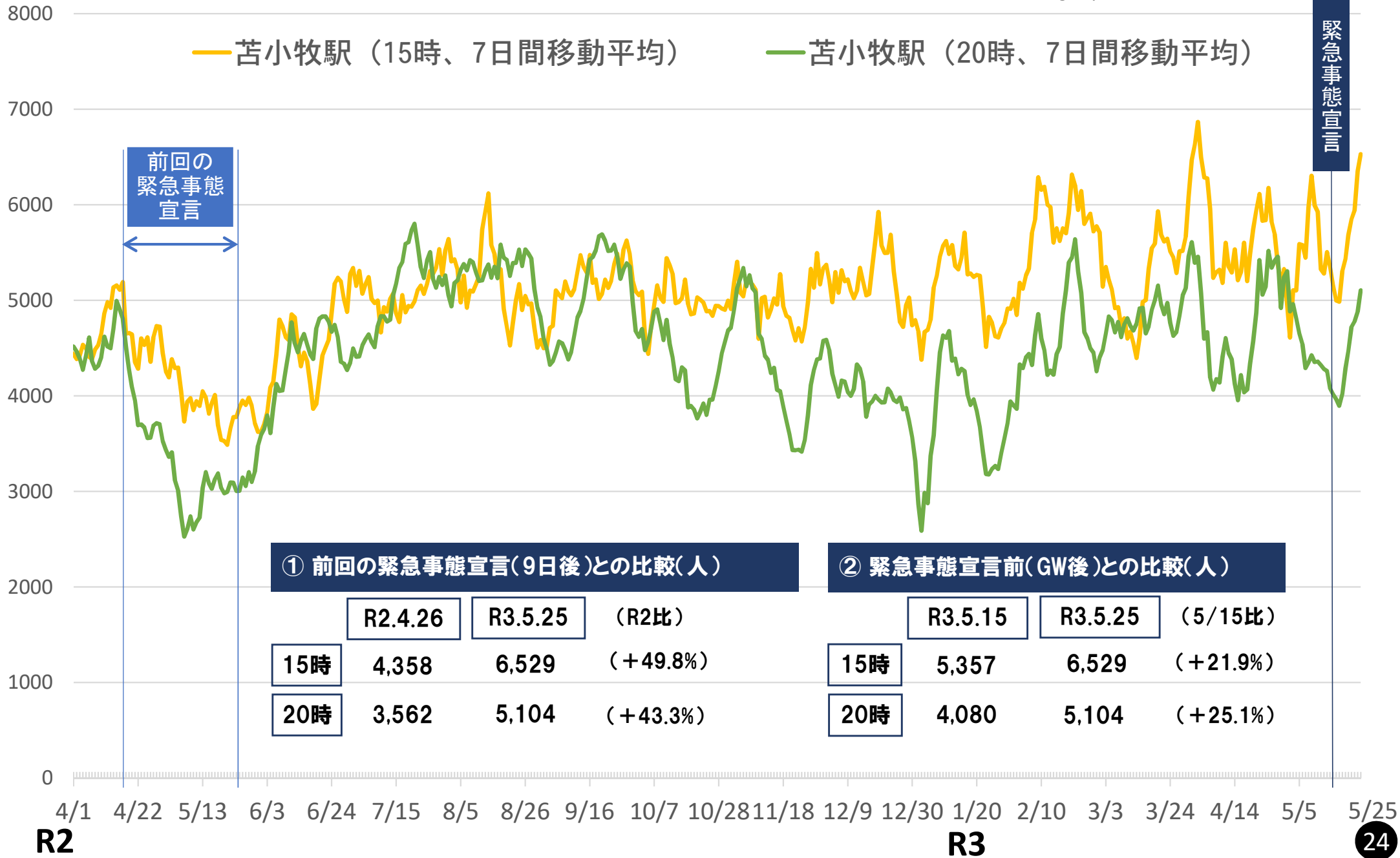
旭川駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



苫小牧駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



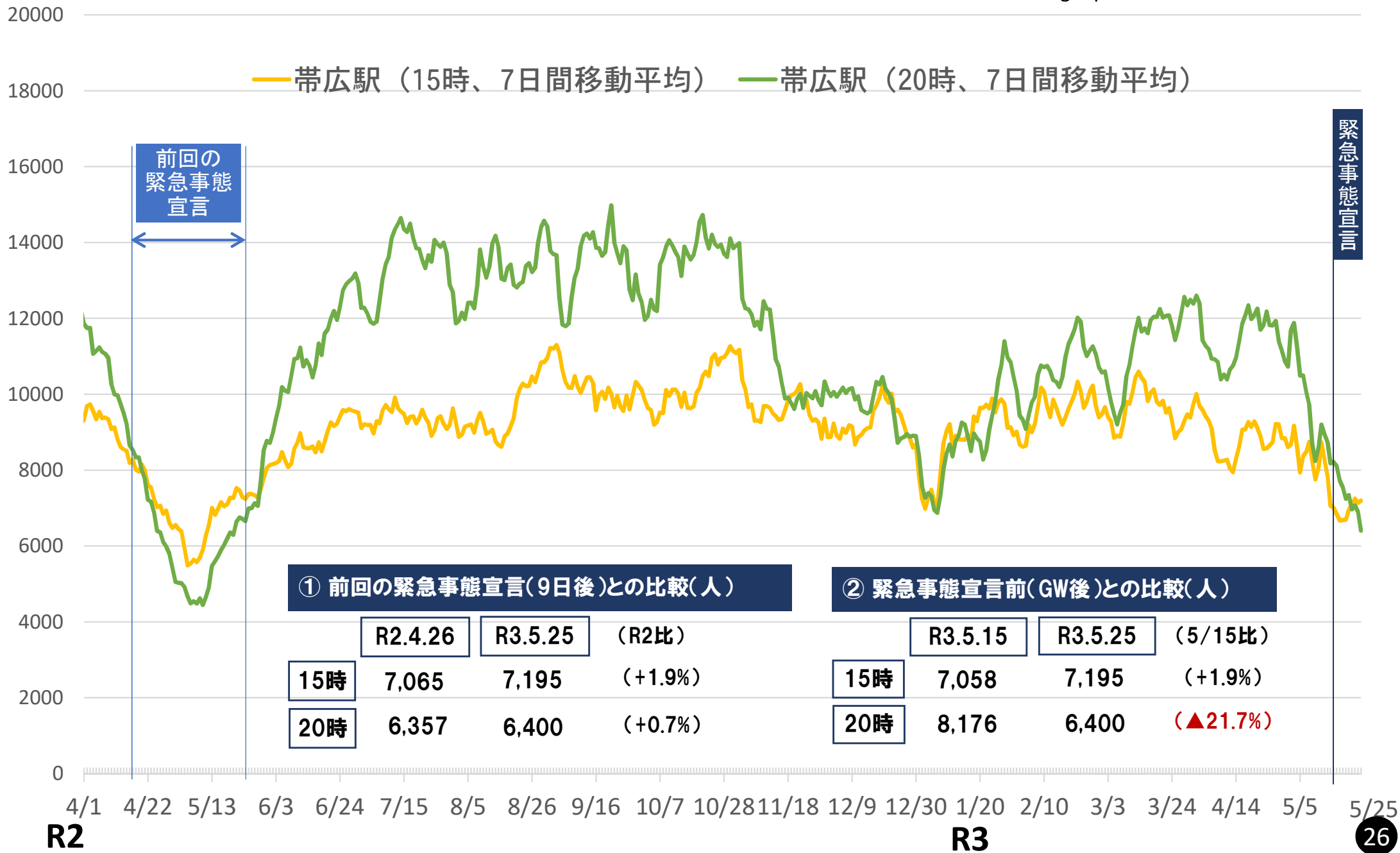
函館駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



帯広駅周辺の人出

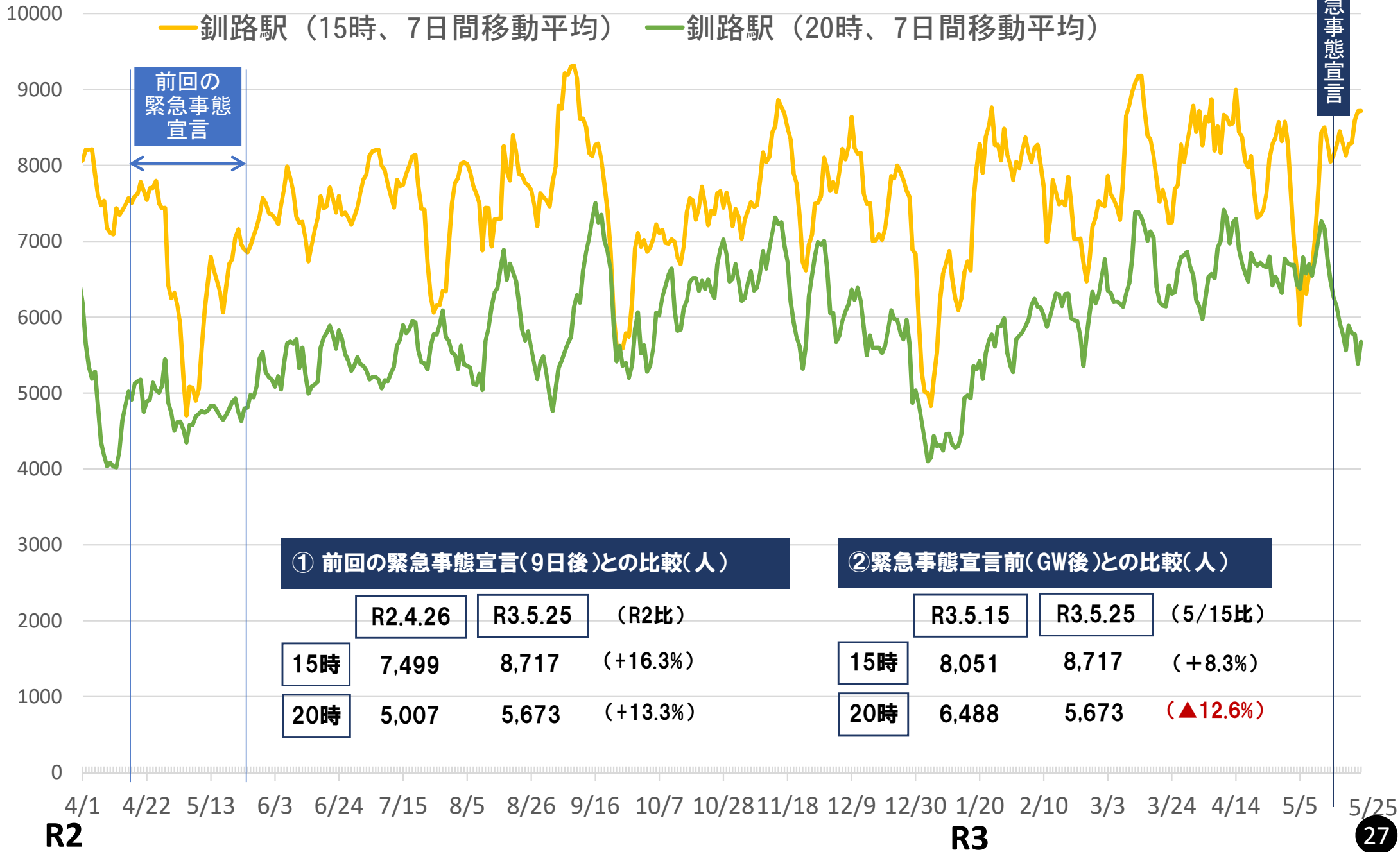
※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



釧路駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

緊急事態宣言



総評①

【感染状況】

- 感染性の高い変異株に置き換わった中、道内の新規感染者数は、10万人当たり70人を超える高い水準が続いている。感染経路不明の割合は減少傾向がみられるものの、高い水準で推移している。
- 特定措置区域の感染者数は、増加傾向が続いており、全道の感染者数を押し上げている。特に、札幌市においては、感染経路不明割合が6割近くであり、10万人当たりの感染者数が120人を超えるなど、極めて厳しい状況。
- その他の措置区域においては、職場や学校などにおける集団感染が継続的に発生し、新規感染者数は高止まりの状況。
- 全道の主要な地点において人流の減少傾向が見られ、特に夜間は大きく減少してきている。

【医療提供体制】

- 全道の療養者数は増加傾向が継続しており、入院患者数もこれまでの最多を更新して高い水準となっている。特に札幌市内においては、入院や宿泊療養施設への入所の調整が困難になるなど、医療の限界とも言える状況が続いている。
- 地域の基幹病院等においても、その機能を維持することが極めて厳しい状況が続いており、怪我や急病など通常の医療が、直ちに受けられなくなる可能性も危惧される。
- 感染者の急増に伴い、全道的に入院や宿泊療養施設への入所はもとより、自宅で療養となる方も増加している。

【ワクチン】

- 接種を希望する20万2千人の医療従事者への接種は、5月25日現在において、1回目約85%、2回目約48%が、また、高齢者166万人への接種は、1回目約6%、2回目約0.2%が終了した。

総 評②

【今後の対策】

- 感染しやすいとされる変異株への置き換わりを念頭に、全道域で人と人との接触を徹底して抑えるための対策を実施する。
- 特定措置区域において、飲食店等への見回りや広報車を活用した普及啓発など、市町村との連携を一層強化して対策に取り組むとともに、特に札幌市内においては、さらなる徹底を図る。
- また、全道において、飲食の際の注意喚起、市町村と連携した集団感染への対応など、引き続き、地域の状況に応じた対策に取り組む。
- 自宅で療養する方の増加を踏まえ、食品や日用品セットの配付やパルスオキシメーターの貸与に加え、保健所による健康観察の徹底や必要に応じた在宅医療の提供など、万全の支援を行う。
- 医療従事者向けのワクチンは、5月23日までに必要量の供給が完了しており、高齢者向けは、6月末までに供給が完了する見込みとなっている。接種を希望する方が、1日も早く接種を終えることができるよう、引き続き円滑なワクチン接種体制の整備に努める。
- 英国株より更に感染しやすい可能性があるインド株については、海外から入国された方の陽性が確認された場合など、必要に応じ、ゲノム検査を実施することとしている。また、今後、国の動向を踏まえ、スクリーニング検査の実施を含め、検査のあり方について検討する。